

第 4 表 府県別電灯、ガス及び水道

本表の電灯にかんする数字は各年度末現在で電気事業用のもの、ガスにかんする数字は各年末現在で「生産動態統計調査」に基づく全国のガス会社よりの報告を集計したもの、上水道にかんする数字は各年末現在で各府県を通じて市町村より提出された報告を集計したものである。なおガスについては昭和31年末現在である。

	電 灯		ガ ス		上 水 道	
	需用家数 (1000)	契約灯数 (1000)	需要家数	供給量	給水人口	認可水道給水量 (千立方メートル)
昭和 27 年	15 447	86 747	1 893 839
28	15 843	94 091	2 035 859	...	25 105 178	2 354 061
29	16 233	98 437	2 212 457	2 050 992	26 444 186	2 494 924
30	16 665	106 031	2 734 145	2 607 701	28 821 073	2 686 451
北 青 岩 宮	655	4 052	38 801	29 994	1 013 513	78 905
	231	1 236	5 051	1 481	225 687	16 865
	220	1 144	2 139	1 405	153 521	11 125
	284	1 512	7 864	6 668	500 593	33 727
秋 山 福 次	228	1 176	13 558	10 869	135 014	8 918
	237	1 327	5 649	3 483	265 480	16 861
	323	1 899	9 906	5 668	411 993	30 316
	358	1 715	9 543	8 222	87 993	6 488
栃 群 崎 千	268	1 453	7 373	5 080	161 565	11 305
	291	1 677	11 047	5 920	278 569	19 755
	415	2 464	15 519	9 685	291 083	17 540
	423	2 263	21 272	21 392	349 859	21 472
東 神 新 富	1 511	13 446	966 849	1 023 052	5 667 185	630 779
	577	3 891	127 290	155 656	1 808 328	258 704
	449	2 876	48 720	39 893	532 373	38 623
	199	1 451	8 363	5 876	164 582	10 456
石 福 山 長	193	1 407	15 753	6 449	260 684	16 470
	163	1 126	5 289	3 662	111 529	7 633
	159	1 056	5 535	3 435	287 273	14 533
	415	2 449	16 100	10 045	526 520	38 827
岐 静 愛 三	319	2 240	10 277	7 707	235 419	17 636
	500	3 080	37 536	31 403	615 646	45 098
	765	5 224	199 486	209 305	296 396	126 708
	309	1 849	15 590	10 238	278 558	22 318
滋 京	194	1 214	10 084	5 313	95 632	6 037
	418	3 479	168 214	137 237	1 146 278	89 768
大 阪	995	6 721	500 620	498 770	3 492 886	392 289
	786	5 229	193 168	158 485	1 726 004	176 228
兵 奈 和 鳥	167	1 184	6 368	3 682	197 154	9 768
	226	1 272	6 354	5 457	281 841	20 720
	119	771	4 439	2 656	175 086	10 836
	181	1 005	4 580	2 068	152 180	7 847
島 岡 広 山	341	2 168	20 053	14 130	484 415	36 128
	449	2 620	33 508	24 998	668 647	86 413
	311	1 880	15 248	9 381	485 201	54 536
	168	966	3 628	2 419	155 243	11 306
徳 香 愛 高	185	1 247	6 126	3 451	245 712	13 916
	303	1 699	9 561	6 247	348 987	14 233
	185	958	4 631	3 007	226 968	13 899
	606	3 901	80 384	66 892	1 361 848	119 119
福 佐 長 熊	157	918	4 728	2 770	207 932	7 744
	278	1 425	22 594	21 972	616 106	41 694
	326	1 670	10 860	8 389	286 079	20 551
	236	1 430	4 920	2 758	280 849	23 937
大 宮 鹿	195	933	8 213	4 788	138 183	7 704
	348	1 328	11 354	6 242	388 479	20 728

(注) 資料 通商産業省公益事業局公益事業課、ガス課、建設省計画局水道課。

第 11 章
生 産 指 数

第 11 章 生産指数

(1) 概 況

昭和32年の大阪府工業生産は設備投資を中心とした昭和31年の好況に引き続き上昇を続けている。しかし、32年の上昇率は31年の上昇率と比較するとその伸びは低くなっておりしかも、31年が逐月上昇過程をたどったQに対して32年は上半期と下半期で対照的な動きを示し、上昇から頭打ち、下降状態を呈した。

さて昭和32年の工業生産指数(昭和30年=100)のうごきを見ると、年平均145.3と31年に対して15.1%の上昇を示しているが、これを31年の対前年上昇率(26.2%)と比較すると約60%の上昇に止まっている。また全国指数(昭和30年=100)でも年平均は145.4と前年に対する上昇率は17.7%でのびは鈍化してきている。

年平均総合指数および上昇率(昭和30年=100)

	30年		31年		32年	
	平均指数	上昇率	平均指数	上昇率	平均指数	上昇率
大阪府	100.0		126.2	26.2	145.3	15.1
全国	100.0		123.5	23.5	145.4	17.7

(注) 全国は通産省調製工業

年平均指数と関連して、上半期(1月~6月)と下半期(7月~12月)別にその動きをみると、30年以降漸次上昇を示すとともに、例年下半期は上半期より上昇しているのが、32年は上半期の145.7を頂点として、32年下半期にはこれまでの上昇傾向から転じて、144.9で0.5%減を示したことが注目される。

半期別総合指数および上昇率

	30年			31年				32年			
	上半期	下半期	上昇率	平均指数	上昇率	平均指数	上昇率	平均指数	上昇率	平均指数	上昇率
	94.1	105.9	12.5	117.6	11.0	134.8	14.6	145.7	8.1	144.9	-0.5

(注) △印は減少

さらに月別の動きをみると、31年以来引続いて高い水準を持続し、年当初より非常な活況を呈したが、5月以後政府の金融引締政策、過剰生産による操短等のため、6月を頂点として低下あるいは停滞の傾向をしめしている。

これを対前年同月比でみると32年1月~5月は20%を上廻る上昇を示し、31年と同程度の上昇がみられたのであるが、6月以降は金融引締めの生産段階への浸透により上昇率の鈍化がみられ、前年同月比の上昇率が20%台をわり、漸次低下傾向をたどり12月には前年同月比はわずか3.3%の上昇にとどまった。

月別総合指数および対前年同月比

	1月		2月		3月		4月		5月		6月	
	平均指数	対前年同月比	平均指数	対前年同月比	平均指数	対前年同月比	平均指数	対前年同月比	平均指数	対前年同月比	平均指数	対前年同月比
30年	82.6		92.3		100.4		95.6		95.6		98.0	
31年	101.2		112.9		122.2		120.0		122.2		127.1	
32年	128.1		144.0		151.2		149.6		149.8		151.3	
31年/30年	122.5		122.3		121.7		125.5		127.8		129.7	
32年/31年	126.6		127.5		123.7		124.7		122.6		119.0	
	7月		8月		9月		10月		11月		12月	
30年	97.7		100.9		104.7		106.0		109.8		116.6	
31年	126.5		127.0		133.2		137.9		138.6		145.5	
32年	149.6		140.5		140.6		141.7		146.9		150.3	
31年/30年	129.5		125.9		127.2		130.1		126.2		124.8	
32年/31年	118.3		110.6		105.6		102.8		106.0		103.3	

いまこれを部門別にみると、31年が設備投資を反映して金属製品部門と機械工業部門の上昇が著しく、またその他の部門もすべて増加がみられたのに対し32年には2部門が減少をしめしている。

32年に著しく増加した部門はたばこ工業の37.0%、輸送機械工業の35.6%、ゴム工業の28.0%、電気機械工業の26.7%、窯業の23.8%、紙パルプの22.8%、金属製品工業の22.7%増等であるが、32年の上昇率が31年を上廻った部門は、たばこ工業、ゴム工業、窯業の3部門で、その他の部門は伸びの鈍化がみられる。また減少を示したのは製材、木製品工業の6.9%減、食料品工業の1%減の2部門であるが31年、32年の生産は一般的に全部門にわたり生産増加をしめし30年平均指数の100に対して32年平均指数が200以上を示したのは電気機械工業208.3輸送機械工業207.2の2部門があり、総合の145.3を上廻っているのはこの2部門と、たばこ工業182.2その他工業166.6金属製品工業163.5、紙パルプ工業158.4、一般機械工業157.2、ゴム工業154.9の8部門をかぞえる。一方総合より下廻っているのは、第一次金属工業144.0、窯業139.2、非鉄金属工業130.8、繊維工業124.5、化学工業124.2皮革工業122.1、製材木製品工業117.0、食料品工業106.6の8部門となっている。

(2) 織 維 工 業

繊維工業は製造業の中に占める地位の低下傾向がみられるが、なお依然として大阪工業の中で最高のウェイトを占めており、工業全体に大きな影響力を持っている。

32年の繊維工業は不況に転換した年であるが、この主な原因としてはまず過剰設備による過剰生産があげられ、さらに金融引締めによる影響を著しく受けたこと等があげられる。すなわち31年10月設備増設抑制のために繊維設備臨時措置法が実施されたが、これは結果としてかけこみ増設をまねき、この拡大された設備が32年には漸次稼働をはじめ、このため、32年平均指数は124.5と前年を11.6%上廻る生産を示したが、過剰生産と金融引締の影響は、スフ綿の操短を始めとして化繊、綿紡、織物各業界全般に生産調整策がとられるところとなり、対前年同期比は上半期の17.3%増から下半期6.3%増に低下してきている。

しかしながら32年中に好調な生産をあげたものは、合成繊維織物の87.5%増、人絹糸65.3%増、制服63.1%増、メリヤス外衣47.3%増、スフ織物41.2%増、合成繊維紡績糸38.7%増、スフ糸38.3%増等があり、化繊部門は旺盛な需要にささえられ、31年に引続き最も活況を呈した。そのほか例外として繊維製品の中で大きなウェイトをもつ綿糸は20.8%増の上昇率を示している。これに反して生産の減少したものは絹織物28.4%、スフ綿20.8%、麻織物20.2%、特和紡織物11.1%のそれぞれの減少がある。また毛糸は全国的な拡張傾向に対し縮小化をみせて0.5%の減少を示し、さらに屑糸は毎年高い上昇率を示してきたが、32年には伸びなやみの傾向をみせ前年とほぼ同じ生産に止まった。

(3) 化 学 工 業

化学工業は32年平均指数124.2で5.1%の上昇に止まり、31年の18.2%の上昇に比べると他の部門同様伸びの鈍化を示した。金融引締めによる一般景気の沈滞が全般的に波及したため、関連産業の需要の減退により生産はふるわなかった。このような中で生産の著しかったものに、ポリ塩化ビニール67.1%増、ホルマリン62.8%増、ふっ化水素酸48.9%増、メラミン樹脂48.4%増、溶解アセチレン46.2%増、塩化亜鉛37.8%増、酸素37.5%増、尿素樹脂34.4%増等があげられる。なお需要の減退、操短等のため大きく減少したものは、脂肪酸49.9%、過りん酸石灰29.3%、直接染料24.6%、酒石酸17.9%、硝化綿13.7%、無水フタル酸12.6%の減等がみられる。

(4) 一 般 機 械

31年の機械工業は投資ブームの波にのって、生産の著増をもたらした。一般機械は32.4%増をしめしたが、32年平均指数は157.2と18.7%増であった。すなわち32年上半期には活況を呈し、4月には172.2とこれまでの最高を記録するにいたったが、下半期には設備投資の減退から増勢の頭打ち、停滞状態となった。

31年の好況に引続き32年も活況を呈したものは、金属工作機械61.8%増、軸受56.9%増動力伝導装置56.8%増、超硬工具56.6%増、船用内燃機関50.5%増、金属加工機械49.2%増、コンクリート機械48.1%増等である。また最大のウェイトを持つ繊維機械は、かけ込み増設による一時的な活況にめぐまれたが、内需の減少、輸出の不振のためあまりふるわなかった。なおその他の各品目の生産は前年の上昇率にくらべると大きな低下をみたものの、依然上昇傾向をみせているが、化学機械、陸用内燃機関のみが、それぞれ38.3%、15.4%の減少を示した。

第1表

大阪府工業

本表は「日本標準産業分類」に準じ、製造工業全般より附加価値額
 ので部門別および総合指数である。基準時は昭和30年、算式は基準

年 月	総 合	食料品工業	たばこ工業	繊維工業	製 材 木製品工業	紙パルプ 工業	化学工業	ゴム工業
ウエイト	100.0	7.5	0.1	17.2	1.6	3.7	16.4	1.8
昭和30年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
昭和31年平均	126.2	113.5	133.0	111.6	125.7	129.0	118.2	121.0
1月	101.2	97.2	93.9	94.7	114.0	107.7	95.9	94.7
2	112.9	102.0	105.6	101.4	118.9	113.6	111.2	97.8
3	122.2	106.8	96.8	103.0	113.3	136.2	117.9	110.1
4	120.0	117.1	103.0	108.9	132.6	125.3	117.1	114.5
5	122.2	132.1	130.5	110.5	125.4	131.7	109.9	119.8
6	127.1	119.4	140.0	113.7	122.4	128.8	118.5	135.3
7	126.5	124.3	152.2	114.9	126.8	130.8	118.9	126.1
8	127.0	108.8	163.9	111.1	136.0	130.4	121.2	130.8
9	133.2	105.7	153.0	118.5	130.2	135.4	127.7	129.2
10	137.9	105.4	165.2	119.3	131.3	132.0	127.4	134.7
11	138.6	114.6	146.7	121.8	128.8	132.3	123.6	123.4
12	145.5	128.7	145.6	121.6	129.2	144.1	128.7	135.8
昭和32年平均	145.3	106.6	182.2	124.5	117.0	158.4	124.2	154.9
1月	128.1	91.8	130.8	109.7	122.4	144.0	112.1	130.1
2	144.0	103.2	142.0	122.4	136.5	149.4	121.7	135.2
3	151.2	120.1	143.3	122.1	130.5	158.4	130.5	152.7
4	149.6	106.0	153.9	120.5	126.8	159.2	123.0	161.1
5	149.8	106.3	182.2	131.5	134.4	162.7	123.2	169.2
6	151.3	123.1	177.8	135.5	126.7	154.2	123.6	177.3
7	149.6	128.6	219.6	125.4	125.2	167.5	128.6	172.6
8	140.5	100.7	206.5	123.3	120.7	158.4	122.5	160.6
9	140.6	90.3	198.3	128.8	96.6	151.9	124.7	153.9
10	141.7	96.9	211.5	126.5	90.5	165.8	119.7	151.8
11	146.9	96.1	213.4	127.4	97.4	165.7	123.8	145.7
12	150.3	116.5	207.4	120.4	95.8	164.0	132.0	148.7

(注) 資料 大阪府総務部統計課。

生産指数 (昭和30年基準部門別)

の多いものから212品目を採用し、その生産高に基づき作成したも
 時固定ウエイトによるラスパイレス3段階式、代表率は90%である。

皮革工業	窯 業	第一次金属 工業	非鉄金属 工業	金属製品 工業	一般機械 工業	電気機械 工業	輸送機械 工業	その他工業
0.7	4.1	8.5	4.1	9.2	10.4	7.0	4.8	2.9
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
115.4	112.4	120.5	127.8	133.4	132.4	164.4	152.8	143.1
88.7	94.3	101.5	102.4	114.4	94.3	118.4	98.8	103.9
99.1	103.5	113.8	117.5	108.4	114.1	146.0	134.5	126.1
124.8	119.1	118.2	114.2	120.0	140.1	153.2	157.9	128.5
104.0	124.2	115.8	102.4	108.1	132.0	147.8	127.1	140.1
109.7	119.6	123.0	120.6	112.7	121.7	153.3	147.2	146.2
116.6	109.1	123.0	136.3	130.0	124.7	165.2	156.4	158.8
114.8	99.4	118.0	130.4	133.8	126.2	164.8	156.6	132.0
107.2	128.8	123.8	132.0	133.1	128.4	160.7	159.4	132.1
134.3	95.2	123.2	136.1	146.3	146.0	175.4	170.1	153.6
134.4	117.1	121.5	150.6	151.8	148.0	195.5	190.5	156.7
122.1	116.6	128.5	139.1	165.2	145.2	192.1	176.4	175.6
128.9	122.1	135.1	151.4	177.5	168.5	200.0	158.4	163.8
122.1	139.2	144.0	130.8	163.5	157.2	208.3	207.2	166.6
122.2	112.4	125.8	149.1	147.5	124.4	186.7	171.0	142.0
140.5	133.7	143.1	162.4	157.9	139.0	221.1	197.6	170.4
106.1	154.3	153.3	161.0	162.2	169.0	198.7	222.8	178.7
121.9	153.0	152.0	151.2	166.1	172.2	223.3	199.7	177.0
124.2	156.8	154.3	128.4	162.7	158.6	210.4	225.8	171.2
116.2	144.9	147.1	125.2	175.0	155.1	226.9	219.4	147.6
113.3	139.5	142.8	124.9	174.7	158.5	214.9	216.6	138.2
120.5	131.5	136.9	121.3	148.7	157.1	203.1	196.6	144.5
145.3	128.7	145.8	119.3	136.5	163.1	200.5	188.7	169.6
115.5	136.8	145.5	108.8	159.6	158.9	197.5	192.4	171.6
132.1	139.8	140.2	108.5	164.1	167.0	212.8	239.9	172.6
106.9	138.7	141.1	109.5	207.1	162.9	203.8	215.9	215.4

第2表

大阪府工業

本表は都内別および総合指数作成に用いた品

Table of Osaka Prefecture Industrial Production Index (1930-1932). Columns include Year, Month, Manufacturing Industry, Food Products, Dairy, Beverages, etc. Rows show monthly and annual averages for 1930, 1931, and 1932.

Table of Osaka Prefecture Industrial Production Index (1930-1932) - Textile and Apparel. Columns include Year, Month, Spinning, Weaving, Knitting, etc. Rows show monthly and annual averages for 1930, 1931, and 1932.

生産指数 (昭和30年基準品目別)

日別指数である。品目の指数は発表しない。

Table of Daily Industrial Production Index (1930-1932). Columns include Year, Month, Tobacco, Textile Industry, Cotton, Wool, etc. Rows show monthly and annual averages for 1930, 1931, and 1932.

Table of Daily Industrial Production Index (1930-1932) - Apparel and Textiles. Columns include Year, Month, Men's Clothing, Outerwear, etc. Rows show monthly and annual averages for 1930, 1931, and 1932.

第2表 大阪府工業

Table with 12 columns: 年, 月, 繊維衣類, 製材工業, 製材, ベニヤ, 紙パルプ工業, パルプ, 洋紙, 板紙, 和紙, 段ボール, セロファン. Includes data for 昭和30年, 昭和31年, and 昭和32年.

Table with 12 columns: 年, 月, 溶解アセチレン, 硫酸, 塩化亜鉛, 硫酸アルミ, 活性炭, リサージ, フッ化水素酸, 無水フタル酸, 直接染料, ナフトール下清剤, ホルマリン. Includes data for 昭和30年, 昭和31年, and 昭和32年.

生産指数 (続)

Table with 12 columns: 化学工業, 過りん酸石灰, 化成肥料, か性ソーダ, 塩酸, さらし粉, さらし液, 亜鉛華, 紺青, 黄鉛, 酸素, 水素. Includes data for 昭和30年, 昭和31年, and 昭和32年.

Table with 12 columns: しゅう酸, 石炭酸樹脂, フタル酸樹脂, 尿素樹脂, メラミン樹脂, ポリ塩化ビニール, 硝化綿, セルロイド生地, 有機機薬品, 酒石酸, 酢酸エステル, フタル酸エステル. Includes data for 昭和30年, 昭和31年, and 昭和32年.

第2表

大阪府工業

生産指数 (続)

Table of Osaka Prefecture Industrial Production Index (continued). Columns include month, weight, and various industry categories like Grease, Lubricating Oil, Fats, etc.

Table of Osaka Prefecture Industrial Production Index (continued). Columns include month, weight, and various industry categories like Automobiles, Glass, Cement, etc.

Table of Osaka Prefecture Industrial Production Index (continued). Columns include month, weight, and various industry categories like Rubber, Leather, etc.

Table of Osaka Prefecture Industrial Production Index (continued). Columns include month, weight, and various industry categories like High Pressure Conduit, etc.

第 2 表

大 阪 府 工 業

年 月	熔接鋼管	引抜鋼管	亜鉛鉄板	針 金	鉄 線	硬鋼線	鍛 鋼	鍛工品	鑄 鋼	鑄鉄管	鉄 鋸	鉄 物
ウエイト	1.6	1.6	11.4	8.5	17.9	5.7	7.5	5.9	6.9	1.0	3.7	
昭和30年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
昭和31年平均	157.9	144.5	85.1	97.1	103.8	145.7	131.2	133.1	155.0	96.7	131.9	
1月	124.3	105.0	87.7	89.3	95.3	122.6	89.5	113.6	111.6	76.3	86.8	
2	151.5	125.3	87.3	109.6	100.0	124.5	124.5	133.5	85.9	114.9		
3	150.2	141.7	97.7	110.4	106.2	126.7	116.7	120.9	148.8	93.8	112.0	
4	142.7	143.9	102.8	101.4	101.7	134.3	108.3	119.6	149.1	90.0	117.5	
5	144.4	145.5	99.4	117.9	110.1	146.5	129.3	130.9	155.4	90.8	121.4	
6	162.7	157.9	87.8	100.2	102.7	149.8	141.9	140.4	162.3	107.0	135.2	
7	147.3	152.2	80.2	93.9	101.9	144.2	137.2	125.5	137.0	98.6	135.3	
8	157.8	143.7	89.7	96.7	102.0	141.1	166.7	126.7	152.1	99.7	133.0	
9	171.2	148.0	75.0	87.9	106.6	157.3	143.5	133.8	167.2	101.9	146.0	
10	179.1	157.0	68.8	85.5	103.3	164.9	85.9	144.8	158.0	97.9	159.9	
11	176.0	158.6	66.2	87.5	107.5	162.9	176.1	150.8	176.3	110.3	160.0	
12	188.1	155.7	78.6	84.7	107.4	173.0	155.1	164.6	208.8	108.0	161.2	
昭和32年平均	202.0	69.6	99.4	83.8	101.3	183.3	170.8	169.8	219.2	110.3	151.0	
1月	151.5	120.0	75.3	83.9	96.7	176.5	137.0	129.0	176.1	94.5	129.9	
2	212.2	157.9	87.1	96.5	100.3	177.0	185.3	170.1	204.6	125.6	158.1	
3	206.2	155.9	103.5	96.8	105.8	192.6	185.1	180.1	209.0	113.4	156.2	
4	227.8	168.7	95.7	92.8	99.9	195.9	175.4	173.3	220.3	112.6	167.2	
5	226.3	40.5	86.5	97.7	105.0	199.9	194.1	163.8	248.2	114.0	190.3	
6	229.7	35.8	92.7	84.9	95.2	188.8	195.4	178.1	253.2	119.2	162.7	
7	216.4	33.0	107.2	75.9	90.8	182.6	187.1	166.2	249.8	142.5	152.6	
8	240.2	27.3	96.8	56.3	90.0	137.8	182.1	182.4	233.0	137.6	143.9	
9	200.3	25.8	111.3	72.9	107.9	177.0	164.5	192.3	228.5	93.0	142.8	
10	170.3	22.7	125.9	84.7	111.0	203.4	126.1	180.0	205.4	86.3	140.5	
11	186.5	24.9	105.6	74.0	104.3	199.7	143.7	165.7	203.7	98.7	136.4	
12	156.8	22.3	104.8	89.2	108.7	168.9	174.0	156.5	198.4	85.8	131.4	

年 月	シャベル スコップ	作業工具	鉄管継手	鉄構物	ドラム罐	白熱燈 照明器具	荧光燈 器具	電燈器具	携帯電燈	釘	鋼 索	金 網
ウエイト	1.8	4.6	4.7	24.1	3.8	3.1	17.1	1.7	1.7	0.8	1.1	
昭和30年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
昭和31年平均	95.2	112.9	126.9	120.7	163.8	110.6	127.1	122.6	84.8	141.2	107.0	
1月	99.1	99.8	89.6	84.1	110.6	78.4	128.2	65.7	89.7	113.8	112.6	
2	100.0	108.9	107.8	82.5	125.6	94.4	145.1	89.6	79.6	128.5	134.2	
3	101.3	110.5	118.4	129.2	115.2	115.7	119.8	87.2	82.4	138.7	130.9	
4	90.9	106.7	105.5	109.9	115.2	112.7	104.2	85.5	82.0	132.9	103.9	
5	83.9	108.6	116.5	100.2	135.1	104.6	104.0	45.1	85.9	137.5	109.2	
6	83.9	109.7	149.5	139.2	141.0	111.3	95.4	125.8	88.3	135.3	110.5	
7	87.0	109.1	133.4	128.1	154.9	115.9	97.6	201.2	85.4	135.6	93.9	
8	95.2	102.6	134.7	123.2	141.7	117.2	113.2	167.7	86.7	142.5	88.4	
9	95.7	112.8	136.5	170.3	217.7	115.2	124.7	175.6	94.3	153.7	93.3	
10	99.1	121.8	142.0	141.6	234.9	109.1	153.7	147.0	84.1	149.2	96.8	
11	101.7	132.8	144.8	115.4	207.5	130.3	166.9	128.4	79.2	162.8	98.6	
12	105.2	131.0	144.7	124.4	266.2	122.1	172.7	152.9	80.7	163.9	111.2	
昭和32年平均	110.7	154.8	142.0	165.4	194.9	218.8	178.7	134.5	85.5	167.2	104.5	
1月	100.4	119.7	120.4	100.6	197.1	169.1	120.5	149.7	74.6	163.7	100.9	
2	99.1	132.0	147.9	142.3	267.5	183.0	200.8	194.9	72.7	167.2	111.2	
3	125.7	155.8	155.2	147.5	244.4	178.8	186.7	166.6	78.0	180.4	108.0	
4	123.9	147.1	171.5	168.4	269.6	178.1	173.3	165.2	72.1	132.7	84.3	
5	120.4	131.8	136.5	163.9	228.1	168.2	148.2	113.0	70.8	177.2	86.7	
6	107.4	131.1	142.2	198.1	187.9	164.0	147.5	152.9	73.4	165.6	93.1	
7	97.8	164.0	136.8	175.8	188.2	166.4	169.9	181.5	82.5	178.0	95.8	
8	99.6	174.6	131.0	186.4	146.4	191.3	145.8	138.5	87.9	154.8	113.2	
9	109.1	179.9	137.8	139.1	131.0	253.3	158.4	101.1	97.0	169.5	108.0	
10	117.4	172.8	135.3	176.3	170.8	251.5	210.8	76.3	104.8	176.1	117.3	
11	110.0	175.1	141.0	157.7	182.1	337.9	208.4	58.7	107.0	174.9	129.5	
12	117.8	173.9	148.1	228.7	125.6	299.7	274.3	115.1	105.0	166.2	106.3	

生 産 指 数 (続)

可鍛鉄物 鑄	非鉄金属 工 業	電気銅	伸銅品	鉛管板	軽金属 延 延	銅合金物 電 線	金属製品 業				
							5ガロン 罐	食 罐	機械刃物		
7.1	(4.1) 100.0	22.9	12.1	3.3	15.5	10.1	36.1	(9.2) 100.0	4.4	23.6	1.1
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
116.5	127.8	115.1	133.3	136.0	113.0	146.5	134.2	133.4	136.4	152.9	111.6
93.6	102.4	114.9	107.9	111.5	96.5	101.5	94.5	114.4	98.8	154.4	92.4
108.4	117.5	115.0	113.1	125.4	116.8	118.8	119.8	108.4	95.3	95.2	156.0
116.6	114.2	94.5	118.5	129.2	114.2	137.7	117.3	120.0	126.0	103.0	104.9
106.1	102.4	69.1	117.2	122.5	114.2	113.4	108.7	108.1	144.9	92.6	105.8
116.4	120.6	121.4	120.0	130.6	103.9	135.5	122.5	112.7	142.0	112.5	101.7
115.5	136.3	137.1	123.4	150.6	114.8	148.3	144.7	130.0	133.3	141.9	86.6
119.7	130.4	135.1	128.4	147.2	106.4	147.6	132.1	133.8	130.5	158.7	80.2
118.4	132.0	137.6	143.3	120.1	105.2	152.8	131.4	133.1	155.5	146.6	106.2
119.5	136.1	121.3	148.0	143.9	116.9	174.7	138.2	146.3	136.8	149.0	111.2
124.5	150.6	136.2	156.8	142.9	124.2	173.4	163.4	151.8	135.9	170.3	133.0
128.3	139.1	90.2	155.6	147.1	119.8	178.8	161.0	165.2	160.2	240.3	130.5
131.3	151.4	109.2	168.0	161.0	122.7	175.1	177.4	177.5	177.1	270.2	130.3
150.6	130.8	138.6	149.0	132.8	108.3	186.4	113.7	163.5	161.3	157.4	137.0
135.8	149.1	137.9	152.7	133.2	101.7	161.5	173.3	147.5	161.4	222.5	104.2
159.4	162.4	128.5	170.0	145.3	121.5	202.8	189.2	157.9	166.5	138.0	129.4
172.6	161.0	107.8	173.1	150.3	115.6	203.7	199.2	162.2	173.6	148.5	131.3
178.8	151.2	28.8	171.9	147.3	118.2	203.9	193.8	166.1	193.8	146.9	151.4
160.6	128.4	138.9	164.8	148.8	110.7	204.1	94.0	162.7	193.8	172.3	152.1
143.1	125.2	156.4	158.0	123.3	104.5	195.0	83.9	175.0	149.7	207.4	140.4
129.8	124.9	162.1	143.9	139.4	104.7	181.8	86.4	174.7	155.0	202.8	145.0
149.8	121.3	168.6	131.9	137.5	103.2	175.3	78.8	148.7	148.1	114.0	121.9
137.8	119.3	183.5	145.2	122.0	91.0	157.1	71.2	136.5	122.8	96.5	146.0
143.5	108.8	152.4	122.3	116.5	103.1	141.8	69.2	159.6	159.0	107.6	146.4

第 2 表

大 阪 府 工 業

生 産 指 数 (続)

Table with columns: 年 月, 繊維機械, 食料品加工機械, 鋳 型, 風 水 力 機 械, 運 搬 機 械, 動 力 伝 導 装 置, 化 学 機 械, ミ シ ン, 冷 凍 機, バ ル プ コ ッ ク, 軸 受. Rows include 昭和30年平均, 昭和31年平均, and 昭和32年平均 with monthly data.

Table with columns: 年 月, 扇 風 機, 電 気 アイロン, 電 気 洗 濯 機, テレ ビ ジ ョ ン 受 信 機, 増 幅 装 置, ス ピ カ ー, 抵 抗 器, 蓄 電 器, 変 成 器, 電 気 計 器. Rows include 昭和30年平均, 昭和31年平均, and 昭和32年平均 with monthly data.

Table with columns: 電 球, 発 光 灯, ラ ジ オ 受 信 機, 電 気 機 械 工, 交 電 動 機, 変 圧 器, 整 流 器, 配 電 盤, 開 閉 器, コ ン デ ン ー, 配 線 器 具, 電 浴 接 機. Rows include 昭和30年平均, 昭和31年平均, and 昭和32年平均 with monthly data.

Table with columns: 蓄 電 池, 乾 電 池, 輸 送 機 械 工, 三 自 動 車, 鉄 道 車 両, 自 転 車, 鋼 船, 運 搬 車 両, そ の 他 業, 玩 具, 塩 化 ビ ニ ー ル 製 品, 木 プ ラ シ. Rows include 昭和30年平均, 昭和31年平均, and 昭和32年平均 with monthly data.

第 12 章

運輸及び通信